

## 評価選定結果について

番号	企業名	実験テーマ	実験概要	選定結果
1	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	② 効率的な公園のインフラメンテナンス	点検巡回ルートに対するイメージングレーザセンサー等によるデータ収集高度化、点検用仮想点検空間でのデータ蓄積・可視化、業務専門家の知見による分析、AI構築と非・専門家によるAI技術活用に向けた検討	選定
2	NTTドコモ株式会社	① 公園利用サービスの魅力向上	昨年度実証中の滞留データを踏まえた、周辺地域と連携/連動可能な「商用サービス」のバイクシェアポートの歴史公園内への設置	選定
3	国際航業株式会社	② 効率的な公園のインフラメンテナンス	現行の公園施設管理手法の課題解決に向け、各種データを一元管理し、中長期的な施設維持マネジメントの検討にも資する「スマート公園管理システム」構築	選定
4	株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク	② 効率的な公園のインフラメンテナンス	ドローンの「ネスト（巣）」を公園内に設置し、定期的に自動航行させることで無人でのデータ取得を目標とし、機器の小型化や長期間設置の課題発見を目指す	選定
5	凸版印刷株式会社	① 公園利用サービスの魅力向上	第一次/第二次大極殿も含めたエリアにおいて、VR映像と音声を融合した歴史体験サービスを、レンタサイクルと連携して提供	選定
6	西日本電信電話株式会社 奈良支店	③ データの収集・統合・分析、プラットフォームの整備	多様なデータを収集し、蓄積したデータを活用可能な「データプラットフォームの提供」、および人流及びヘルスケアサービスの実験を追加することにより、より多くのデータを収集することで利用者や従業員へ還元	選定
7	日本電気株式会社	③ データの収集・統合・分析、プラットフォームの整備	来園者の人流解析データ活用の磨きこみを目的とし、取得した人流情報をダッシュボードでリアルタイムに可視化し、園内施策と人流の相関関係を確認	選定
8	PerceptIn Japan 合同会社	① 公園利用サービスの魅力向上	公道走行が可能な超小型モビリティを使用し、限定エリア内のスポット間での無人自動走行実験を実施	選定